

研究室見学のご案内

—オープンキャンパス2025—

3号館

研究室(場所)	開放時間	所要時間	教員名 (学科・コース名)	テーマ	内容	キーワード
3階展示室	10:30~16:00	10~15分程度	小林 謙介 (生命環境学科環境科学コース)	脱炭素・カーボンニュートラルなどの環境負荷削減を考えてみよう!	CO2排出量などの様々な環境影響を見る化(定量化)する、ライフサイクルアセスメント(LCA)に関する研究、またLCAを活用した資源循環・環境負荷削減の提案をしています。その研究内容や成果の社会への反映などについて紹介しています。	環境マネジメント、環境影響評価、CO2排出量、脱炭素・カーボンニュートラル、ライフサイクルアセスメント(LCA)
3階展示室	10:30~16:00	5~10分	福永 健二 (生命環境学科生命科学コース)	穀物の多様性	われわれ人類は、さまざまな穀類を利用しています。今回は、本研究室が保有する、穀物遺伝資源のサンプルの展示をし、穀物にはどのようなものがあるのか、野生種と栽培種の違いは何かなどを知る機会を提供します。	穀物、遺伝資源、多様性、栽培化、育種学
3102号室	10:30~13:00	40分	松崎 秀紀 (生命環境学科生命科学コース)	DNAの電気泳動	遺伝子を取り扱うバイオテクノロジーは農業や医療などのさまざまな分野に用いられています。この研究室では遺伝子(DNA)の分析手法のひとつである電気泳動を紹介します。	バイオテクノロジー、遺伝子、DNA、電気泳動
3108号室	10:30~13:00 14:00~15:00	10~15分	有馬 寿英 (生命環境学科環境科学コース)	身近な微生物たち	微生物を目にする機会は少ないと思われるですが、日常生活を営む上では欠かすことのできないものです。身近にいる微生物たちを見てくださいかね…。	微生物、生産物・製品
3501号室	10:30~13:00	20分	阿部 靖之 (生命環境学科生命科学コース)	卵子を操作する	ヒト不妊治療や家畜生産の現場では、生殖補助技術(卵子の凍結保存、体外受精など)によって多くの世代が誕生しています。それらの技術を紹介するとともに、小さなビーズを使って卵子の操作を模擬体験していただきます。	卵子、精子、体外培養、凍結保存
3503号室	14:00~16:00	10分	荻田 信二郎 (地域資源開発学科)	植物食用細胞の開発+α	植物細胞を培養して資源利用する細胞農業に関する研究を進めています。当日は1)ポスター説明、2)教材動画の紹介、3)蛍光顕微鏡を用いた植物培養細胞の観察体験を提供します。+αで特別な体験が?!	チャノキ コーヒーノキ、細胞培養、細胞農業、蛍光顕微鏡
3601号室	10:30~12:00 13:00~16:00	10分	齋藤 靖和 (生命環境学科生命科学コース)	日焼けの原因、メラニンをつくってみよう! 培養細胞を見てみよう!	夏の日焼けなどで皮膚の色が黒くなる原因のメラニン色素を酵素反応により試験管内で合成し、化粧品開発研究の一部を体験してみよう!研究室で取り扱っている皮膚、老化、がんに関する細胞の観察もできます。研究室の学生もいますので、学べることや生活などについて気軽に質問して下さい。	化粧品研究、老化研究、がん研究
3603号室	10:30~16:00	30分	山下 泰尚 (生命環境学科生命科学コース)	哺乳動物の精子と卵子を見てみよう!	当研究室では、家畜の増産やヒトの不妊治療に応用すべく、マウス、ブタ、ウシを用いて哺乳動物の精子や卵子が卵巣でどのように形成されるのかについて生理学的・分子生物学的的手法を用いて解析しています。研究室見学では、精子や卵子の形成過程について顕微鏡を用いて観察するとともにマウスのハンドリングについても体験することができます。	精子、卵子、哺乳動物
3703号室	10:30~16:00	5-15分程度までご要望に応じます	八木 俊樹 (生命環境学科生命科学コース)	小さな生物の運動を観察しよう	微生物の多くは、特殊な運動装置を用いて水中を自由に遊泳します。顕微鏡を使えば、彼らの運動の様子をつぶさに観察できます。それを自分の目で見て、けなげな彼らの様子にぜひ感動してください。	顕微鏡、微細藻類、光走性、変異株

4号館

研究室(場所)	開放時間	所要時間	教員名 (学科・コース名)	テーマ	内容	キーワード
4302号室	10:30~16:00	20分	橋本 温 (生命環境学科環境科学コース)	ミクロの世界を覗く！ 顕微鏡で見る微生物の世界	大腸菌って聞いたことがありますか？ 皆さんの腸内に常在する細菌です。この大腸菌をはじめとする微生物を染色して、顕微鏡で観察してみましょう。	顕微鏡観察、細菌、微生物、遺伝子解析、水の微生物学的な安全性
4304号室	10:30~15:30	10~20分程度	内藤 佳奈子 (生命環境学科環境科学コース)	身のまわりの水環境について考える	地球上の水の97.5%は海水、2.5%が淡水です。そのうち、陸上生物が簡単に利用できる淡水は0.01%しかありません。この貴重な水資源にどのような物質が存在し溶けているのか、研究例や分析装置などを紹介します。	海洋、湖沼、赤潮、アオコ、水質分析
4401号室	10:30-16:00	10分	青柳 充 (生命環境学科環境科学コース)	雑草も貴重な炭素資源！？植物から化学の力で材料を！	あたりを見渡すと必ず目に入ってくる「雑草」や「木材」を循環型の炭素資源と見なして、化学の力で人間が必要とする材料を作り出します。植物素材からこんなことができる！生物と化学の融合に、ぜひ触れてみてください！！	化学、化学実験、植物、生物、高分子、植物細胞壁、材料、セルロース、リグニン、複合材料、循環型材料、木材、雑草
4504号室	10:30~16:00	5~10分	長尾 則男 (生命環境学科生命科学コース)	食べ物で病気予防	次のようなテーマで研究しています。 ・がん細胞の増殖・浸潤を抑制する食品成分の解析 ・食品成分の抗酸化作用 ・水産物の鮮度評価	食品、健康、細胞
4602号室	10:30~16:00	30分	吉野 智之 (地域資源開発学科)	食品加工のトータルコーディネート	食品加工において、生物学、化学および物理学を基礎にして加工法を開発し、成分や物性を顕微鏡などで分析をしています。さらに、食品副産物から生分解性プラスチックを開発しています。総合的に食品加工を考えています。	食品加工、成分分析、物性、顕微鏡、食品副産物、生分解性プラスチック
4604号室	13:00~16:00	10~20分程度	山本 幸弘 (地域資源開発学科)	エゴマ油を抽出	最近その健康機能が話題のエゴマ油を、種から抽出します。種を粉砕したり、有機溶媒を使って抽出したり、特殊な機器を使って濃縮したり、そのような実験室で行われる工程を紹介します。	油脂、健康、エゴマ油、有機溶媒、抽出

5号館

研究室(場所)	開放時間	所要時間	教員名 (学科・コース名)	テーマ	内容	キーワード
5101号室	10:30~16:00	20分	小関 良卓 (生命環境学科環境科学コース)	バナナから学ぶ！持続可能なモノづくり	家庭にあるお酢を使って、試験管の中でバナナの香り成分を合成してみませんか。身近な材料から全く違う物質が生まれる驚きを体験できます。私たちの研究室では、この技術を活用して植物から有用な化合物を作る研究をしています。	有機合成、バイオマス利用、香料化学、環境調和型材料
5302号室	10:30~16:00	約1時間 (待ち時間の間に他研究室の訪問可)	菅 裕 (生命環境学科生命科学コース)	自分の細胞からDNAを取り出す！	自分の細胞から、ドラッグストアで手に入るものだけを使ってDNAを取り出してみましょう。取り出したDNAは、父親と母親から半分ずつつうけついで「あなたの設計図」です。DNAはアルコール中に保存し、見える状態でマイクロチューブにいれてお渡しします。	DNA、分子生物学、細胞
5303号室	10:30~16:00	約30分	藤田 景子 (地域資源開発学科)	果実の糖度を測ってみよう	“くだもの”は甘くて美味しい！スーパーマーケットには甘さの指標として「糖度」が示されている場合もあります。でも、糖度ってなんでしょう？なぜ、くだものは「甘く」て「おいしい」のでしょうか？糖度を測定しながら果実のおいしさについて考えてみましょう。	果樹、果実、糖度、糖酸度
5401号室	13:00~16:00	30分	米村 正一郎 (生命環境学科環境科学コース)	身近なモノから放出される二酸化炭素の量を測ってみよう	米村研で実際に使われている測定法を見て感じ取ってもらうための企画です。コーラやエナジードリンクなどの炭酸飲料や、土壌から出てくる二酸化炭素の量を測ってみましょう。研究においては、今日体験してもらうような手法で大気成分の土壌での交換過程を正確に測定しています。	大気、土壌、温室効果ガス、炭酸飲料

研究室(場所)	開放時間	所要時間	教員名 (学科・コース名)	テーマ	内容	キーワード
5403号室	10:30~16:00	10分	大竹 才人 (生命環境学科環境科学コース)	これが未来の太陽電池!	折り曲げ自在なシート状のカラフルな太陽電池フィルム。実際に手に取って良く見て下さい。一見すると普通の透明なプラスチックフィルム。そこには、驚きの最先端技術が満載なのです。皆さんの想像を遥かに超えた未来の太陽電池。その驚きと興奮の未来を、からだいっばい感じて下さい。	再生可能エネルギー、地球温暖化、太陽光発電
5402号室	10:30~16:00	15分	安藤 杉尋 (生命環境学科生命科学コース)	植物の病気を観てみよう	植物も病気になることを知っていますか?植物の病気について知ることは農業生産にとっても重要です。研究室では植物-病原菌相互作用について説明し、実際に植物の病気を顕微鏡などを使って観察して頂こうと思います。	植物の病害防除、植物-病原体相互作用、植物免疫
5501号室	10:30~15:00	15~30分	金岡 雅浩 (生命環境学科生命科学コース)	ミクロの世界を覗いてみよう	私たちの体は細胞からできています。様々な細胞や、細胞の中に見られるものを、顕微鏡で観察してみましょう。また、私たちの研究テーマである植物の発生や生殖についても説明します。	植物、細胞、DNA、顕微鏡
5502号室	10:30~16:00	15分	岡田 守弘 (生命環境学科生命科学コース)	~拝啓 がん研究者を志す君へ~	「がんになると、なぜ生き物は死亡するのか?」、そのしくみを明らかにしようと、私たちは日々研究をしています。この研究の最前線ではユニークなモデル動物が活躍しています。そんな研究の舞台裏を、実際に体験してみませんか?	がん
5503号室	12:30~14:00	30分	尾崎 則篤 (生命環境学科環境科学コース)	水環境の「検査室(建設中)」へようこそ!	この研究室、まだ「(建設中)」。が、それが楽しい。どんな機械を置くか、どこに水を流すか—そのひとつ々が「水環境をどう観るか」の探究そのもの。つまりこの部屋、いま絶賛思索中。片づけ途中も含めて、ぜひご覧ください。	都市水循環; 環境モニタリング; 研究室づくり; 未来の科学者へ

附属フィールド科学教育研究センター

研究室(場所)	開放時間	所要時間	教員名 (学科・コース名)	テーマ	内容	キーワード
6501号室	11:00~15:00	20~30分	甲村 浩之 (地域資源開発学科)	野菜の栽培研究をしてみよう	夏秋トマトの水耕栽培、夏秋イチゴの水耕・土耕栽培、ホワイトアスパラガスの長期採り栽培等をみただけです(谷垣研究室や古山研究室の植物工場や施設園芸研究を合わせてみていただくことや同時に紹介することも可能です)。	野菜 水耕栽培 土耕栽培 アクアポニックス